

中期経営計画 進捗状況報告

(2022. 3. 31 現在)

R3 Plan 2019-2021

～地域にあり続けるために、創造と挑戦～

J Aにしゅうわでは、自己改革の取組を継続しています。Reliance (信頼) Reform (改革) Resolution (決断力)のもと、課題を抽出するとともに、今次中期経営計画の中で、果敢に自己改革の取組を進めており、更に農業者の所得増大、農業生産の拡大、地域の活性化に向けて取り組みを強化しています。

農業者の
所得増大



地域の
活性化



農業生産
の拡大





生産量の確保、優良園地の維持・継承による 管内生産者農家戸数・販売面積の確保

出家契約者農家戸数 / 1,987 戸
出荷契約者栽培面積 / 2,519ha (温州 / 1,431ha 中晩柑 / 1,088ha)

重点実施事項	2022. 3月末までの具体的取組進捗状況	目標と課題
1. 出資型農業法人の検討・設立	<ul style="list-style-type: none"> ● 経営収支の黒字の見込みはなく、出資型法人の設立は見合わず事となりました。当面、農業経営事業、農作業支援事業等を従来通り農協事業で展開していきます。 	経営開始目標 2022 年度中
2. 担い手支援	<ul style="list-style-type: none"> ● アルバイター事業で 20,200 人役を確保することができました。アルバイターの要望は年々増加傾向にあり、新たな雇用促進協議会の設立や市町の支援を受け宿舍整備も管内全体に増え受入体制の拡充を図ることができました。 ● 集落営農法人組織 1 件設立、個人経営から法人経営へ 2 件移行しました。法人経営は、通年雇用を採用する農家を中心に相談が増えています。 	労働力斡旋人数 14,500 人役 / 年 法人農家数 1 件 / 年
3. 新規就農者の確保・支援	<ul style="list-style-type: none"> ● 令和 1 年～3 年度で 15 名の研修生が就農を目指し担い手支援チームの中で研修を実施し、3 年度末までに 12 名が就農しました。アルバイター経験者が研修生として多く就農しています。 	体験・研修者受け入れ人数 体験 5 人 / 年 研修 2 人 / 年

高品質生産への取り組み強化による 農家の育成・支援強化による精品率の向上

重点実施事項	2022. 3月末までの具体的取組進捗状況	目標と課題
1. 高品質安定生産の取組強化	<ul style="list-style-type: none"> ● 温州ミカンの通知表を1,602件通知し、個別面談指導を940件、中晩柑では355通で245件、合計1,185件の面談を実施しました。また適正施肥袋数を提示し、高品質安定生産への取組に寄与しました。 	個別面談戸数 1,000戸/年
	<ul style="list-style-type: none"> ● 奨励品種への改植促進として温州合計で42,600本、デコポン・清見・甘平合計で15,200本の実績となりました。 	改植面積 100ha/3年
	<ul style="list-style-type: none"> ● マルチ被覆面積は299.2haと概ね計画通りとなり、品質の底上げをすることができました。 	マルチ被覆支援 300ha/年
	<ul style="list-style-type: none"> ● 土壌分析を年2回実施、土壌phの低い園地が多く、石灰は3年間で10万袋、カルシウム資材散布は延べ7,500haと計画を上回りました。今後も適正な土壌phをめざして取り組みます。 	石灰 7.5万袋 カルシウム資材 4,500ha/3年
	<ul style="list-style-type: none"> ● オリジナル品種の生産量は合計で1,684t、うち施設624tとなりました。栽培上の問題点と寒波の影響等が生産量の減少の原因となりました。 	生産量 1,800t/年
	<ul style="list-style-type: none"> ● 残留農薬検査34検体実施、生産履歴の回収率も100%となっており、安全安心の農産物づくりに努めています。 	生産履歴回収率 100%
2. 補助事業の有効活用	<ul style="list-style-type: none"> ● 補助事業利用者はR3年度268戸と大幅に増加傾向にあり、補助事業を活用しての省力軽労働化が進んでいます。 	対象農家戸数 360戸/3年
	<ul style="list-style-type: none"> ● 鉄筋柵と電気柵設置ヶ所は158ヶ所で年間総延長57,472mとなっており徐々に設置ヶ所は増加しています。 	防護柵の設置ヶ所 400ヶ所/3年
	<ul style="list-style-type: none"> ● イノシシの捕獲は、2,306頭になっています。 	



出荷説明会



品評会



マンダリンスクール

会員の維持と連携強化による 地域活性化への貢献

重点実施事項	2022. 3月末までの具体的取組進捗状況	目標と課題
1. 会員維持による 同志会活動の 活性化	<ul style="list-style-type: none"> ●研究発表大会を実施しましたが、新型コロナウイルス感染防止のため大きな活動は今のところ自粛しています。 ●管内の小中学生、保育園児を対象に食農教育の一環としてミカン収穫体験、出前事業、選果場見学を実施しました。 	同志会活動の 延べ人数 200人／3年
2. 女性部加入促進	<ul style="list-style-type: none"> ●新型コロナウイルス対策をした中でみかんマイスター研修を3回開催し、103名の参加がありました。 ●メディアへ出演し西宇和柑橘をアピールしました。 ●リモートにより、フレッシュミズ交流大会を開催しました。 	女性部活動の 参加延べ人数 600人／年
3. 地域を巻き込んだ 各種イベントの 実施	<ul style="list-style-type: none"> ●新型コロナウイルス禍の中で大きなイベントはできませんでしたが、JAこどもクラブでは手形アートづくりコンテストを実施しました。また年末には職員がサンタに扮して戸別訪問を実施しました。 	新型コロナ ウイルスの影響

集荷率の向上による販売高の増大

重点実施事項	2022. 3月末までの具体的取組進捗状況	目標と課題
1. 長期安定供給の 確立	<ul style="list-style-type: none"> ●品種別出荷計画策定会議を開催し、果実販売高実績で温州111億8,700万円、中晩柑47億8,400万円と合計で約160億円と計画を上回ることができました。 	品種別計画書の 作成 ↓ 販売開始1ヶ月前
	<ul style="list-style-type: none"> ●新型コロナウイルスの影響で制限を設けた中での生産者大会の開催となりました。 	タイムリーな 生産者大会の開催
	<ul style="list-style-type: none"> ●新型コロナウイルスの影響で女性部による販促活動はできませんでしたが、各種講習会を開催し、生産者や協力組織とのコミュニケーション強化を図りました。 	女性部による販促 1回／年
	<ul style="list-style-type: none"> ●独自のインターネット販売は見送りましたが、JAタウンの利用を強化し、2億9,700万円とほぼ計画通りの実績となりました。 	令和3年度 直売目標 3億／年
	<ul style="list-style-type: none"> ●みかんを含む果汁100%ジュースの販売実績は16,132本の実績となりました。 	販売本数 20,000本／年
2. 施設の有効活用	<ul style="list-style-type: none"> ●三瓶共選でみつるのデコボン、磯津のみかんで1,000t、三崎共選はプチみかんと年内伊予柑に加え日の丸みかん2級果を実施して数量増、中央共選は少量スマル品目を中心に約1,300t実施しました。 	委託荷造りの 実施 3,800t／年



同志会研究発表大会



みかん収穫体験



フレッシュミズリモート茶話会



みかん祭り

金融部

生活メインバンク機能強化による 経営基盤の安定化

個人貯金残高(R3末) 目標/136,783百万円 実績/136,248百万円(進捗率99.6%)

重点実施事項	2022.3月末までの具体的取組進捗状況	目標と課題
1. 情報収集による 個人貯金の純増	<ul style="list-style-type: none"> ●MAリーダー会、月例検討会で情報を共有し、MAの営業力の強化と組合員相談の充実に努めました。 ●定期貯金独自商品(デジワン定期開始)の企画・販売を実施(金融部同行)し、獲得に努めました。定期貯金獲得実績 6,749百万円(136.1%) 	<p>定期貯金 獲得金額 目標 4,958百万円</p>

共済部

組合員サービスの強化による 共済事業基盤の確保

契約者人数(R3)/24,500人 実績/24,526人(進捗率100.1%)

重点実施事項	2022.3月末までの具体的取組進捗状況	目標と課題
1. 長期共済の強化	<ul style="list-style-type: none"> ●年度ごとの新仕組のお知らせ活動を中心に活動を展開し、目標を達成することが出来ました。 ●新医療お知らせ活動を中心に展開し、期別管理と個別指導の徹底を図り、13,816件/年(103.8%)の3Q訪問活動を実施しました。 	<p>3Q訪問活動 目標 13,300件/年</p>

営農部門と金融部門の連携強化による 農業融資の需要の掘り起こし

証貸残高 計画／8,800 百万円 実績／8,631 百万円 (98.1%)

重点実施事項	2022. 3月末までの具体的取組進捗状況	目標と課題
1. ローン及び 農業融資の強化	<ul style="list-style-type: none"> ●住宅業者への営業を実施して、業者との関係強化を図るとともに、感謝訪問を実施しました。また、マイカー・教育ローンの研修会・FSTを通じて資質の向上を図り、利用者ニーズに対応しました。 ●92件の農業メイン強化先の洗い替えを行い、159件の定期訪問を実施しました。 ●農業おまかせ資金を中心に近代化資金等農業融資の需要を掘り起こし、同時にメイン強化先等に対する情報収集やサポート等を実施しました。 	<p>農業融資新規 実行額</p> <p>目標 220,000 千円</p> <p>実績 215,312 千円 (97.8%)</p>

営農部門と経済部門の連携強化による トータルコストの低減

重点実施事項	2022. 3月末までの具体的取組進捗状況	目標と課題
1. 経済部門供給高 の確保	<ul style="list-style-type: none"> ●令和1年10月にCA(シトラスアドバイザー)を設置し、毎年研修会を開催し、資質の向上を図りました。 ●営農指導課との連携により個人毎に肥料の必要数量を通知し、きめの細かい予約取りまとめができました。 ●農薬4品目についてホームセンターへの価格対策を実施し、計画通りの実績を確保しました。 ●生産資材についても計画通りの実績、今後も一括仕入れによるスケールメリットが発揮できる取り組みを進めていきます。 ●石油部門は計画対比111%と大幅に計画を上回ることができましたが、価格の上昇によるところが大きく影響しています。 	<p>CA配置人数 11名</p> <p>CAの機能強化</p>
2. 購買部門費用の 削減	<ul style="list-style-type: none"> ●店舗巡回により商品在庫管理の向上に努め、値引き、廃棄額を大幅に削減することができました。 	<p>店舗部門費用 前年実績対比 80%</p>



CA農薬説明会



神山出張所リニューアル

1. 信用店舗

(1) 信用店舗（共済窓口含む）

- ① 基幹店舗・一般店舗の基準に沿った方向性については、令和4年度上期末までに確定し、令和6年度下期に端末更改を行う予定です。
真穴事業所、川上事業所の隔日営業については、廃止を前提に神山出張所の店舗改修を完了しており、最長令和6年3月末までとし、人員体制等を検証しながら十分に説明し、統合を行います。
- ② 貸付業務については、令和4年3月末をもって矢野崎出張所は八幡浜支店へ、瀬戸出張所は伊方支店に統合しました。
- ③ 町見事業所の出張金融については令和3年度末をもって廃止とし、MA、ATMで対応を行います。
- ④ 共済業務については、令和4年3月末をもって矢野崎出張所は八幡浜支店へ、瀬戸出張所は伊方支店に統合しました。

(2) ATM機器

- ① ATMの再編について令和1、2年で神山の増設も含めて10台を更改、令和3年度より期中平均50件/1日を基準に存廃を検討しています。
- ② 令和3年度に保守切れ機種の中で利便性を考慮して穴井、瀬戸、三崎の機種を更改、PC喜須来も新機種に更改しました。
- ③ 日土のATMについて、駐車場整備後の利用者数の動向により、ATMの存廃を判断します。

2. 販売業務

(1) 選果場・集荷施設

- ① 中期経営計画の再編計画では共選の意向を尊重しながら4施設に集約し、最終的に1施設での運用を目指すとしていましたが、4つのブロックごとの検討の中で、独自に2つの委員会が設置され、一方では「共選長会での施設再編委員会」「目的別委員会」を設置し、検討を重ねました。その結果、真穴（単独運営）、川上（単独運営）、中央（八幡浜単独運営・日の丸単独運営・三瓶-八協共同選果）、みつる（みつる-伊方-磯津 組織合併・新施設建設）の4施設に加え三崎（単独運営）の5施設への集約要望となっています。現在、作業部会では「みつる-伊方-磯津」の組織合併・新施設建設を優先して進めており、令和7年10月稼働予定で検討を進めています。また単独運営となった共選・施設についても選果機（センサー・カメラ）の更新期を迎えるため検討が必要であり、次期の再編に向けて特別委員会を設置し、検討を進めていく予定です。
- ② 西宇和ブランド維持のための別組織の検討は行っていませんが、引き続き継続案件として検討を進めていきます。
- ③ 流通センターの移転を含めた検討についても新選果場建設に伴い同時進行で検討を進めていきます。

3. 購買業務

(1) 生活小店舗

- ① 一人体制の小店舗について、三瓶の5店舗は令和1年12月、三机、二名津店舗は令和3年3月末で閉店しました。
- ② 日土とPC喜須来店舗の統合については、現在まで検討を進めてきましたが新選果場建設に併せて移動購買車の配送拠点も含めて再度検討していきます。
- ③ 生活店舗については事業状況、地域性等を加味して存続、集約等の検討を継続します。

(2) 給油所

- ① 拠点給油所の三瓶給油所と大平給油所は毎週日曜日を定休日として、特売日を金曜日と土曜日に設定して営業しています。日土出張所給油所は、令和4年3月末に廃止しました。

(3) 農機具センター

- ① 農機具センターの2ヶ所の集約について検討を進めている中で、全農えひめが県下全域を対象に出向形式で作業効率アップの取組を行っており検討しましたが、諸条件において当JAに不都合な点があり、今後の動向を見た中で参画するか集約するかを検討していきます。

(4) 生産資材店舗

- ① 新選果場建設に伴い、保内営農管理センターの経済センターへの移転を検討しています。現在各店舗に12名のシトラスアドバイザーを配置し、営農指導員との連携の中で肥料、農薬の予約率向上等、ある一定の効果が実証できました。

4. 組織

(1) 支部運営委員会

- ① 4支店構想に伴う支部運営委員会の再編については、金融・共済・購買店舗の再編もすすめており、意見を聴きながら継続して取り組んでいきます。総合運営協議会についても支部運営委員会の再編と並行して検討していきます。

中期経営計画 R3 Plan 2019～2021 数値目標進捗状況

(単位：千円)

項 目			令和2年度 3月末実績	令和3年度 計画(修正後)	令和3年度 3月末実績	計画比 進捗率	
信用事業	調達	貯 金	152,995,879	147,862,011	154,640,776	104.6%	
		借 入 金	1,746	1,746	0	0.0%	
	運用	預 金	133,376,483	125,785,000	134,827,596	107.2%	
		有 価 証 券	8,862,090	8,796,000	9,637,320	109.6%	
		貸 出 金	9,154,814	8,165,608	8,631,804	105.7%	
共済事業	長期共済新契約高		18,799,290	14,090,000	13,849,726	98.3%	
	長期共済保有高		347,672,624	333,650,000	332,083,191	99.5%	
	年金共済新契約高		296,463	116,000	192,170	165.7%	
	年金共済保有高		3,892,440	4,046,000	3,738,795	92.4%	
	短期共済掛金額		789,426	799,860	776,326	97.1%	
購買事業 (供給高)	生産資材	肥 料	577,505	587,062	606,929	103.4%	
		農 薬	1,285,175	1,298,637	1,280,925	98.6%	
		飼 料	4,623	845	1,851	219.1%	
		畜産資材	321,125	300,000	151,700	50.6%	
		農 機	444,819	250,840	356,200	142.0%	
		燃 料	750,348	814,785	906,814	111.3%	
		その他生産資材	639,663	587,823	561,403	95.5%	
	生活資材	店 舗	343,710	341,416	318,983	93.4%	
		主 食	34,764	34,809	32,328	92.9%	
		電 器 製 品	42,712	52,439	37,324	71.2%	
		耐 久 資 材	49,934	77,798	69,259	89.0%	
		日 用 雑 貨	101,992	102,254	99,777	97.6%	
		L P G	278,981	270,800	260,639	96.2%	
		その他生活資材	499,970	460,926	480,345	104.2%	
	合 計		5,375,331	5,180,834	5,164,477	99.7%	
	販売事業	温 州		10,813,986	10,097,000	11,187,883	110.8%
		中 晩 柑		4,276,137	4,671,650	4,784,899	102.4%
落 葉 他		259,861	336,470	286,913	85.3%		
畜 産		7,931	1,200	165	13.7%		
合 計		15,357,915	15,106,320	16,259,860	107.6%		

JAにしようでは、組合員の皆様から自己改革に対する取組に対するご意見を求めています。これまでの取組をご理解いただくとともに、改善すべきこと、要望等がありましたらご意見をください。皆様のご意見をもとに、更なる自己改革につなげていきます。引き続き、JAにしようの事業や様々な取組にご理解・ご協力をお願いいたします。

JAにしよう並びに組織活動において、新型コロナ禍におけるマスク着用を義務化しておりますが、今回の掲載写真には、撮影の時期、状況によってマスク未着用の写真の掲載があります事をご理解ください。



TEL 0894-24-1111 (代表) FAX 0894-24-7506
E-Mail janu001@ja-nishiuwa.jp